

下関市山田遺跡出土の中世遊離歯

松下真実*・松下孝幸**

【キーワード】：山口県、中世、土坑墓、遊離歯、成人

はじめに

山口県下関市大字吉見^{よしみしも}下に所在する山田遺跡の発掘調査が県道改良工事に伴って2019(令和元)年におこなわれ、1基の土坑墓から遊離歯が検出された。山田遺跡は竜王山麓の低丘陵先端部に位置している弥生時代中期～後期および中・近世の集落跡であるが、墓は中世墓が1基検出されたにすぎない。

山口県での中世人骨の出土例としては、下関市の吉母^{よしもほま}浜遺跡(中橋・他、1985)出土人骨がもっとも保存状態が良く、数も多い。その他には山口市の瑠璃^{るりこうじ}光寺跡(松下・他、1988b)と古大里^{ふるおおり}遺跡(松下・他、2011)、萩市の萩城跡(松下、2006b)と見島(牛島・他、1960)、下関市の市場遺跡第Ⅱ地区(松下・他、1992)、吉母堂の下遺跡(松下、2002a)、有富中尾遺跡、旧菊川町の竜王南遺跡(松下、2002b)、旧豊浦町^{しおくみ}の汐汲遺跡(松下・他、1986)、高野遺跡(松下、1999a)、吉永遺跡Ⅲ-西地区(松下、1999b)、吉永遺跡Ⅲ-東地区(松下、1999c)、川棚条里跡(松下、2000)、中ノ浜遺跡(松下、2006a、松下・他、2016、2017)、旧豊北町^{なかひらお}の中平尾遺跡(松下・他、2003a)、神田口遺跡(松下、2003b)、東正寺^{とうしやうじ}遺跡(松下、2004)、寺ヶ浴^{てらがき}遺跡(松下、2005a)、波原^{はばら}遺跡(松下、2007)の他に土井ヶ浜遺跡の第7次調査(松下・他、1983a)、第14次調査(松下、1996)、第16次調査(松下、1998)でも中世人骨が出土している。また、下松市の梅ノ木原遺跡(松下・他、1987)、防府市^{たまのや}の玉祖遺跡(松下・他、1983b)、原遺跡(松下、2001a)、上^{あが}り熊遺跡(松下・他、2008、2009、2010)、宇部市の東隆寺経塚(松下・他、1988c)と末信遺跡(松下・他、1988a)、美祢市の植島遺跡(旧美東町)(松下、1997)、柳井市^{むかいだ}の向田遺跡(松下、2005b)と吉毛^{よしげ}遺跡(松下・他、2011)、長門市三隅^{ゆめん}町湯免遺跡(松下、2001b)、岩国市の中津居館跡(松下・他、2012)、などからの出土例がある。このうち東隆寺、梅ノ木原、吉母堂の下、吉永(Ⅲ-東地区)、竜王南、有富中尾は火葬骨であった。保存状態が良好だったのは吉母浜、土井ヶ浜、汐汲、中ノ浜の各遺跡から出土した人骨で、いずれも響灘沿岸の砂丘から出土したものである。

本遺跡の調査で検出された墓坑に残存していたのは歯のエナメル質のみであったが、歯種を同定することができたものがあったので、観察所見を記載しておきたい。

資料および所見

1基(ST-01)の墓坑から歯が検出された。遺存量は少なく、保存状態も悪く、残っていたのは永久歯のエナメル質のみである。歯は1体分で(表1)、頭位は歯の検出位置から推測して北であったと思われる。性別は不明であるが、歯冠に咬耗が認められることから成人の歯である。年齢も不明であるが、咬耗が弱いことから、高齢者とは考えがたい(表2)。参考までに年齢区分を表3に示した。

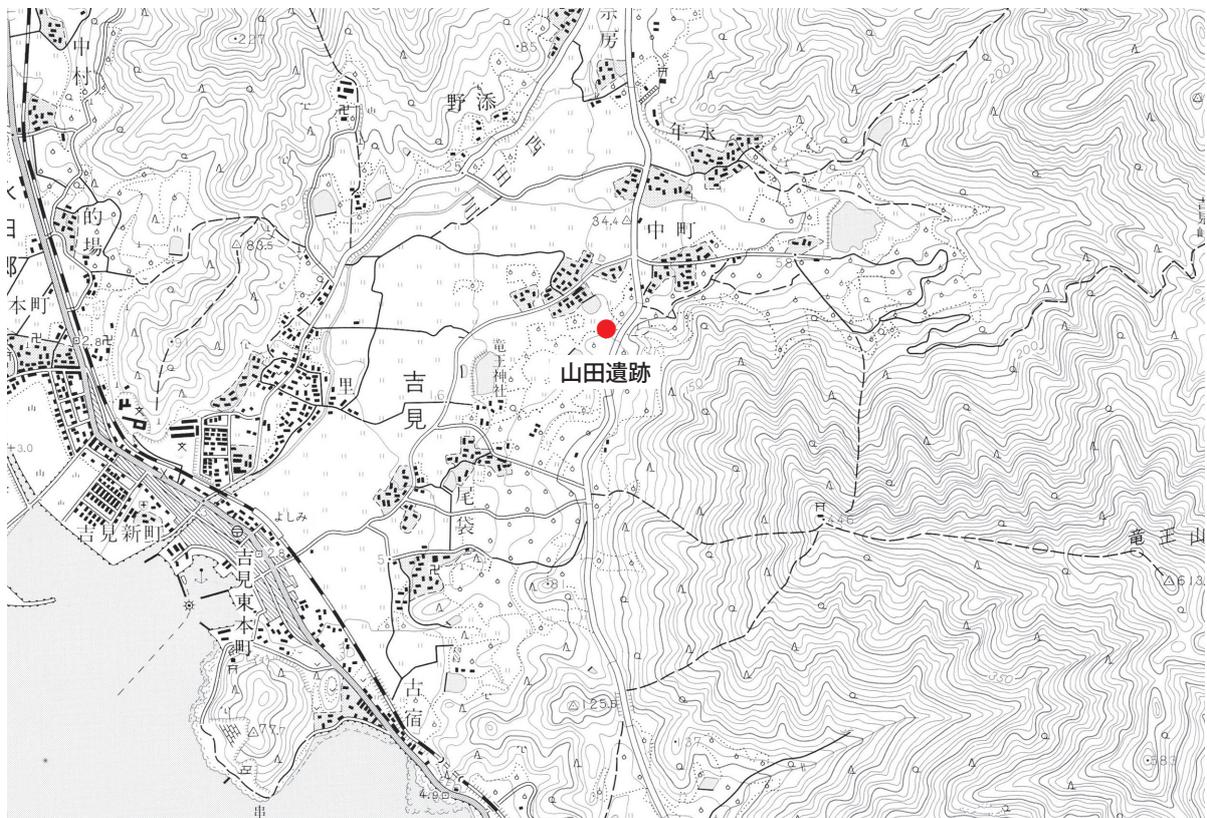


図1. 遺跡の位置 (1/25,000)

(Fig.1 Location of the Yamada site, Shimonoseki City, Yamaguchi Prefecture)

要約

山口県下関市大字吉見下に所在する山田遺跡の2019(令和元)年におこなわれた発掘調査によって、1基の土坑墓から遊離歯が検出されたので、人類学的観察をおこなった。その結果は以下のよう
に要約することができる。

1. 1基の土坑墓(ST-01)から1体分の遊離歯が検出された。残存していたのは歯冠のみである。
2. 歯の検出位置から、北頭位で埋葬されていたと推測される。人骨が残存していなかったので埋葬姿勢は不明であるが、墓坑の長径があまり長くないことから、膝を曲げた状態(屈葬)で埋葬された可能性が高い。
3. 土師器杯が2個体、銅銭(宋銭)が7枚が副葬されていた。副葬品の考古学的所見から被葬者の所属時代は室町時代(14世紀前半)と推測されている。
4. 遊離歯はいずれも永久歯の歯冠で、咬耗がみられることから、被葬者は成人と推測される。歯種を同定することができたのは3本のみである。歯の咬耗は弱い。咬耗の程度は食材の種類や加工の仕方の影響が大きいことから、咬耗だけから年齢を推測することは危険であるが、咬耗が弱いことから、高齢者の可能性は低いと思われる。
5. 今回の調査で中世墓は1基しか検出されていない。調査区域からは中世の掘立柱建物が4棟検出されていることから、この建物に伴う屋敷墓と思われる。また、遺跡からは調理道具類などの日常什器類や祭祀・宴会に使用された土器類の廃棄もみられず、青花(漳州窯1点、景德鎮窯1点)や朝鮮王朝陶器1点や銅銭、鞆羽口1点、鉄滓がみつまっていることから、山田遺跡周辺は「鍛冶関連業をおこないつつ、流通品を消費する拠点集落」と推測されている。

また、本遺跡からは弥生時代中期後半の円形竪穴建物跡と後期後半の方形竪穴建物跡や石剣もみつまっているが、弥生時代の墓は検出されていない。

《参考文献》

1. 松下真実、2007：山口県下関市波原遺跡出土の中世幼小児歯冠。波原遺跡・森広遺跡・片山遺跡(下関市文化財調査報告25)：125-130.
2. 松下真実・他、2011：山口県柳井市吉毛遺跡出土の中・近世人骨。山口考古第31号：49-88.
3. 松下真実・他、2017：下関市中ノ浜遺跡出土の中世人骨。中ノ浜遺跡(山口県埋蔵文化財センター調査報告第99集)：31-48.
4. 松下孝幸・他、1983a：山口県豊浦郡豊北町土井ヶ浜遺跡出土の人骨。土井ヶ浜遺跡第7次発掘調査概報(豊北町埋蔵文化財調査報告2)：19-30.
5. 松下孝幸・他、1983b：山口県防府市玉祖遺跡出土の平安・中世人骨。玉祖遺跡・西小路遺跡(山口県埋蔵文化財調査報告第70集)：147-148.
6. 松下孝幸・他、1986：山口県豊浦町汐汲遺跡出土の古墳時代・中世人骨。汐汲遺跡(豊浦町埋蔵文化財調査報告第7集)：75-102.
7. 松下孝幸・他、1987：山口県下松市梅ノ木原遺跡出土の火葬骨。梅ノ木原遺跡(山口県埋蔵文化財調査報告第98集)：107-112.
8. 松下孝幸・他、1988a：宇部市末信遺跡出土の中世人骨。末信遺跡(宇部市文化財資料第10集)：20-25.
9. 松下孝幸・他、1988b：山口市瑠璃光寺遺跡出土の中世人骨。瑠璃光寺跡遺跡—中世墳墓の調査。(山口市埋蔵

- 文化財調査報告書第28集):397-436.
10. 松下孝幸・他、1988c:東隆寺経塚出土の人骨。東隆寺一字一石経塚(伝南嶺和尚墓)(宇部市文化財資料第9集):33-36.
 11. 松下孝幸・他、1992:山口県下関市市場遺跡第Ⅱ地区出土の中世人骨。市場遺跡Ⅱ・宮添遺跡(山口県埋蔵文化財調査報告第149集):23-25.
 12. 松下孝幸、1996:土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査出土の中世・弥生時代人骨。土井ヶ浜遺跡第14次発掘調査報告書(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第12集):24-50.
 13. 松下孝幸、1997:山口県美東町植島遺跡出土の中世人骨。植島遺跡(山口県埋蔵文化財調査報告第183集):38-40.
 14. 松下孝幸、1998:土井ヶ浜遺跡第16次発掘調査出土の弥生時代・中世人骨。土井ヶ浜遺跡第16次発掘調査報告書(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第14集):付1-39.
 15. 松下孝幸、1999a:山口県豊浦町高野遺跡出土の中世人骨。高野遺跡(南地区)(平成7・8・9年度県営ほ場整備事業にともなう発掘調査報告書)(豊浦町の文化財第15集):226-233.
 16. 松下孝幸、1999b:山口県豊浦町吉永遺跡出土の中世人骨。吉永遺跡(Ⅲ-西地区)(平成10年度県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告書)(豊浦町の文化財第16集):21-25.
 17. 松下孝幸、1999c:山口県豊浦町吉永遺跡出土の中世火葬人骨。吉永遺跡(Ⅲ-東地区)(平成10年度県営ほ場整備事業に伴う発掘調査報告):51-54.
 18. 松下孝幸、2000:山口県豊浦町川棚条里跡出土の中世人骨。川棚条里跡1(大浦・台地区)(平成11年度県営ほ場整備事業に伴う発掘調査概報)(豊浦町の文化財第17集):64-68.
 19. 松下孝幸、2001a:山口県防府市原遺跡出土の中世人骨。原遺跡(山口県埋蔵文化財調査センター調査報告第23集):41-56.
 20. 松下孝幸、2001b:山口県三隅町湯免遺跡出土の中世人歯冠。湯免遺跡(三隅町埋蔵文化財調査報告第1集):付篇
 21. 松下孝幸、2002a:山口県下関市吉母堂の下遺跡出土の中世火葬骨。吉母堂の下遺跡(下関市埋蔵文化財調査報告書61):10-11.
 22. 松下孝幸、2002b:山口県菊川町竜王南遺跡出土の中世火葬骨。竜王南遺跡(山口県埋蔵文化財センター調査報告第31集):69-74.
 23. 松下孝幸、2002c:神奈川県鎌倉市由比ヶ南遺跡出土の中世人骨。神奈川県・鎌倉市由比ヶ南遺跡〈第3分冊・分析編Ⅱ〉:1-99.
 24. 松下孝幸・他、2003a:山口県豊北町中平尾遺跡出土の中世人骨。中平尾遺跡・上今宮遺跡(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第23集):160-163.
 25. 松下孝幸、2003b:山口県豊北町神田口遺跡出土の中世人骨。土井遺跡群 二刀遺跡・丸山遺跡・神田口遺跡(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第24集):85-87.
 26. 松下孝幸、2004:山口県豊北町東正寺遺跡出土の中世人骨。東正寺遺跡・浴ノ迫遺跡(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第25集):29-31.
 27. 松下孝幸、2005a:山口県豊北町寺ヶ浴遺跡出土の中世人骨。土井ヶ浜遺跡周辺遺跡群 寺ヶ浴遺跡 広田遺跡 磯地遺跡(下関市文化財調査報告書9)(山口県豊北町埋蔵文化財調査報告書第38集):138-144.
 28. 松下孝幸、2005b:山口県柳井市向田遺跡出土の中・近世人骨。陶埴第18号(山口県埋蔵文化財センター年報—平成16年度—):63-100.
 29. 松下孝幸、2006a:山口県下関市中ノ浜遺跡出土の弥生・中世・近世人骨。山口考古第26号:51-80.
 30. 松下孝幸、2006b:萩城跡(外堀地区)出土の中世・近世人骨。萩城跡Ⅲ(山口県埋蔵文化財センター調査報告第52集):253-274.
 31. 松下孝幸・他、2008:防府市上り熊遺跡出土の中世人骨。上り熊遺跡Ⅰ(山口県埋蔵文化財センター調査報告

- 第66集): 138-146.
32. 松下孝幸・他、2009: 防府市上り熊遺跡Ⅱ地区出土の中世人骨。上り熊遺跡Ⅱ(山口県埋蔵文化財センター調査報告第70集): 131-136.
33. 松下孝幸・他、2010: 防府市上り熊遺跡Ⅲ地区出土の中世人骨。上り熊遺跡Ⅲ(山口県埋蔵文化財センター調査報告第73集): 105-120.
34. 松下孝幸・他、2011: 山口市古大里遺跡出土の中世人骨。古大里遺跡(山口県埋蔵文化財センター調査報告第75集): 69-74.
35. 松下孝幸・他、2012: 中津居館跡出土の中世人骨。中津居館跡(岩国市埋蔵文化財調査報告第1集): 108-116.
36. 松下孝幸・他、2016: 中世人骨。中ノ浜遺跡(山口県埋蔵文化財センター調査報告第96集): 41-46.
37. 牛島陽一・他、1960: 山口県阿武郡見島村出土の中世時代の人骨について。人類学研究、7(3~4): 52-56.
38. 中橋孝博・他、1985: 人骨(山口県下関市吉母浜遺跡出土人骨)。吉母浜遺跡: 154-225.
39. 中橋孝博・他、1986: 山口県中ノ浜遺跡第9次調査区出土人骨。中ノ浜遺跡第9次発掘調査概報: 25-38.
40. 山口県埋蔵文化財センター、2020、山田遺跡(山口県埋蔵文化財センター調査報告第105集)

* Masami MATSUSHITA (特定非営利活動法人 人類学研究機構)

** Takayuki MATSUSHITA (土井ヶ浜遺跡・人類学ミュージアム)



歯 (The teeth)

山田 ST-01(性別・年齢不明)

(The teeth ST-01 from the Yamada site, sex and age are unknown)